

# 在支外人の支那人教化運動と其の動機

田 中 廣 吉

在支外人の支那人教化に熱中せる様は、支那の教育を視察するもの、意外と感ずる所であらう。

余は昨年彼地に遊んで、其の實際を視察し、歸來諸種の報告を読み、其の施設及普及の状況を考察するに及んで、更に其の影響する所の多大であるのに一驚を喫した次第である。

依つて今左に、彼等の施設經營の主要を叙し、進んで之れが影響する部面を考察し、彼等の支那

見ると次の通りである。

人教化運動の動機を攻究せようと思ふ。

## 一、概況

1 外人側と政府側との普及の比較、支那政府經營の學校に於ける生徒數と、外人經營の學校に於ける生徒數とを比較して見ると、其の間に面白い關係を見出すことが出来る。今之を一表に示して

種別	總數及割合		備考
	政府側生徒數	外人側生徒數	
初等教育	三、五〇〇、〇〇〇	一三〇、〇〇〇	四%
中等教育	一一〇、〇〇〇	一一、五〇〇	一一%
高等教育	一五、〇〇〇	一二、〇〇〇	八〇%

政府側百人ニ對スル外人側ノ生徒數

中學校丈ケナレバ二十パーセント  
醫學生ヲ加フ専門學校別科ヲ除ク

平  
均

三二%平均へ種別歩合ノ平均

右表によると、外人側の生徒数は、初等教育から漸次高等教育に進むに従つて、其の歩合を増加し、高等教育に於ては、其の歩合實に八割に達して居る。是を以て見ると、高等教育に於ては、其の勢力大約伯仲して居ると見ることが出来る。而して此の高等教育を受けたものは、將來社會上特殊の地位を占め、或は政權を握り、或は輿論を支配する立場を占めるものであるから、所謂社會の勢力階級を形成すべきものと見る事が出来る。此の點から考へると、高等教育に於ける勢力の多少は、頗る注意を要すべきものがあると思ふ。

2 兩者生徒素質の比較、更に支那政府設立の學校の生徒と、外人設立の學校の生徒との素質を比較して見ると、初等教育に於ては、一二の例外を除くの外は、外人設立の學校は、授業科が比較的

高價であると共に、其の目的が高等教育の豫備である所から、其の生徒は、上流階級又は智識階級の子弟多く、糊口に窮する細民の子弟は、頗る稀である。従つて其の生徒は、政府設立の學校生徒より著しく尠いけれども、其の父兄の勢力の侮り難いものがある。

中等教育殊に中學校に於ては、政府設立の學校の生徒は、先づ外人設立の學校の入學選抜に洩れたものゝ、一時凌ぎに入學する傾向がある。従て生徒の素質は、政府設立學校の生徒の方遙に遜色があるようである。

高等教育では、國立大學及高等師範學校の生徒を除く外は、政府設立のものは、殆んど外人設立學校の入學選抜に洩れたものといつてもよい状態であるから、其の生徒の素質は、到底外人設立の

生徒の素質と、日と同ふして論ずる事が出来ぬものがある。

之を要するに、外人設立學校には、上流階級及知識階級の優秀生が入學し、國公立學校には、概して富力能力に於て劣弱なものが入學する傾向がある。從て此の兩者の卒業生の社會的活動力も、大に異なるものがあるのである。思ふに將來支那の社會を動す者は、此等外人經營の學校卒業者又は外國留學生である事は、疑を容るべからざる現勢にあるのである。

3 外人の高等教育重視の意義、外人が以上の如く、高等教育を重視する意義を忖度して見ると、國家社會を動すものは、高等教育を終へたものであるから、之に全力を傾注するに至るは、察するに難からざる次第である。但し此處に一言すべき事は、支那に於ける外人經營の學校は、皆教會と特殊の關係を有し、其の目的は布教にある事は、

言ふ迄もない事であるが、然し亦其の影響する所を考察して見ると、國家的國民的色彩を鮮明にして居るものがある。之を古の文献に徴するも、布教の進む處國旗之に従ふといふ事實も尠くはない。又米國の支那宣教師バッシュンフォルト氏の論文に於ても、教會の教育事業經營の目的を以て、將來に於ける國際的經濟競争の準備であると論じ、更に之を實際に徴するも、彼等の教育事業の次第に宗教的色彩を脱脚して、自國主義の波及に傾いて居る上から考へても自國主義の傳播を、否定する事は出来ない。まして本國政府が補助金を與へて、之を奨励する以上は、益、其の色彩を濃厚にする傾向を著しくするものと考へる事が出来る。要するに支那全土に亘つて、彼等宣教師の力によつて經營せられる教育事業が、彼等の支那内地に於ける經濟調査と相俟て、彼等の同胞が、支那に於ける事業經營に對し、或種の便宜を與へ

らるることは、多大であらうと思はれる。  
 4 在支外人教育事業の概覽、今統計によつて、  
 普通教育方面に於ける外人の學校經營を表示する  
 と次の通りである。(但し高等教育に關するは、説  
 次節に掲げる)

在支外人の普通教育事業一覽

省名	外人 教	男 師教	女 師教	支那人 師教	男支 師教	女支 師教	那 人 師教	幼 兒 數	稚 園 數	初 等 小 學 數	高 等 小 學 數	中 學 徒 數	學 生 數	小 學 生 數	中 學 生 數	計 備	考	
滿	一〇		一五	二一七	一〇六			一五		二、八六一			二、五九五					五、八六〇 外人間ノ高
直	四四		四四	三三二	一四七			二三六		五、五三九			二、三六九					九、一六八 等教育ヲ受
山	二七		四〇	八一七	二四一			二八七		一三、五五〇			六九一					一六、二四四 クル學生數
河	一二		一四	一八四	五三			三〇		三、三〇八			三九五					三、八七七 ハ醫學生約
山	四		八	一七九	五九			一一五		二、九九四			六一二					三、七一〇 二千人「カ
陝	一		二	六〇	一七			—		九四六			七九					一、〇二五 レイジ」以
江	五六		三九	二八七	二〇一			二六五		八、一八八			一一〇七					一二、三八四 上約九千六
浙	一八		二九	三〇二	一六〇			四三		六、六五一			一、四五五					九、一六〇 百人合計一
安	一〇		一一	一四五	五〇			二〇		二、七七四			六六一					三、六〇〇 萬一千六百
江	五		一三	一六〇	五一			八四		二、五四四			五二四					三、二二二 人々有ノ從
湖	三八		二九	三三八	一〇九			一六四		五、八五八			七一四					七、一七六 ア外人經營
湖	三一		三六	二八四	五六			七		三、九七七			一、〇七六					五、五一八 ノ學校ニ學

在支外人の支那人教化運動と其の動機

福	廣	廣	甘	四	貴	雲	合
建	東	西	肅	川	州	南	計
四七	五九	二	！	五九	！	一	四四二
一一八	！	四	！	二九	！	一	五六三
八三三	九五三	二〇	一三	四一六	三六	五一	五、三五八
六〇五	三〇五	二五	三	四九	！	四	二、二四一
八三三	三六〇	七三	！	八五	！	二一	二、六三八
二〇、八七二	一三、七八三	三三五	二五八	一一、九九一	七〇五	一、八〇七	二〇八、九四一
三、五五七	二、四〇一	一〇〇	四五	一、〇七五	一一〇	一五五	一九、六七一
九七三	一、〇六二	五二	！	四九三	！	一八一	一一、三〇〇
五二、四〇一	一七、二四六	四八七	三〇三百人ヲ算ス	一三、五五九	八二五	二、一四三	一四、九一二
ブ生徒ノ總	數ハ總計十	五萬二千五					

上表によると約一千人の外人によつて、約十六萬人の支那學生が教育せらるゝ事となつて居る。而も之が皆高等教育の目標によつて、計畫せられ普通教育は其の附屬事業たるの觀があるのは、頗る注意を要することと思ふ。

### 一、外人經營の高等教育

1 外人經營學校の變遷 外人が支那に於て有する自由の布教權を利用して、到る所に學校を設立

し、自國的教育を普及しつゝあるのは、前に述べた通りである。此れより先、前清時代に於ては、外人の教育は宗教的色彩の著しいものがある爲に、支那中流以上の階級者の子弟は好んで入學しなかつた。此れ自國思想に遠ざかり、祖國の倫理道德を無視する傾向があると感じたからである。之に於て前清政府は窃に之を憂慮し、其の結果光緒三十二年（一九〇六年）に學部令を發布し、外人の經營せる學校は、一切政府に於て之を公認せず、

從て其の卒業生は、官吏に採用せらるゝ資格のないものと規定せらるゝに至つた。此れ外人の學校經營者にとつては、非常な痛棒である。之に於て外人は、或は支那官憲と協同し、或は在野の有志と提携し、或は外人自身の手によつて漸次宗教的色彩の淡い文明的設備を有する學校を設立する様になり、基督教徒以外の者も、教育を受け得る道を開き、教育部の認定を受けて、學生の吸收に努め、茲に上記の如く勢力階級を網羅する有力なる學校を開設するに至つたのである。

2 外人及支那人合辦經營の傾向 外人は自己設立の學校の信用を増し、同情を集める手段として支那人と協力し、支那人は自己の技倆及經費の上から之を歓迎する所から、外支合辦の學校は所在に建設せられ、又表面外人經營と稱するも、事實は支那人を參加せしめ之を利用して居る事は、前記の事實及一覽表の上からも明な次第である。然

し外支合辦經營の政策を實行する上に、是非の議論の喧しいのは事實である。近來でもまだ此の政策を排斥する向もある。茲に於て、千九百十五年二月上海に於て開かれた醫學會の席上に於て、エフ、シーエン博士は、次の利益を列擧して之を獎勵して居る。

(一) 合辦經營によつて、支那人を利用することが出来る。此れは今迄反抗力であつたものを協同力たらしめる所以である。

(二) 猜疑心を一掃することが出来る。即ち支那人との間に意思の疏通を得、傳道事業及學校事業の眞の旨趣を了解し、本事業の信用を高める事が出来る。

(三) 支那人の要求に適合せしめる事が出来る。即ち支那人の意思は支那人でなければ充分に理解する事が出来ない。從て支那人の言に聽き、其の腕を用ひるのは、大に教育を適切に

する事が出来る。

(四) 事業を永久的ならしめる事が出来る。即ち外人は其の基礎さへ建設すれば、支那人が其の上之を發展せしめるからである。

(五) 支那人は此の合辦によつて、最良の學校經營法を學ぶ事が出来る。

(六) 支那政府の認定を與へられるから、其の事業は支那人に信用せられる。

かくて外人は、形式的の合辦經營又は事實上の合辦經營によるが、若くは支那人を使役して、彼等に實行上の責任を負はせる様に仕向けて居る。

然るに本邦人は多少支那人を疎外し、單に自國人のみによつて事業を經營しようとする傾向がある。此れは支那に於て事業を經營し、支那人の同情好意の上に其の事業を歓迎せしむる所以ではあるまいと思はれる。教育の如き精神的の事業に於ては、殊に其の然るを覺ゆるのである。

3カレッジ程度以上の學校數等 外人設立の醫學校及醫科大學は、其の數十八に達する。之を支那全土の醫學校二十六に較べると、實に其の七割に相當する次第である。更に其の十八校中十四校は教會の設立に屬し、四校は外國政府の役立にかゝるものである。更に其の十四校中七校は聯合教會の設立にかゝり、四校は純粹に或一教會の設立にかゝり、他の三校は私人及教會の經營に屬する。其の又教會を國別に見ると、英國教會十、米國教會八、和蘭教會一といふ關係である。従つて外人設立の此等學校は大體英米人の經營に屬し、其他のものは殆んど言ふに足らないといふ情況である。

更に一般の高等程度の學校を調査して見ると、如何に英米の勢力の著しいか々分る。今之を一表にして見ると次の通りである。

經營者	校	數	生徒數	備考
米人		一四	三、七七六	殆んど全部は教會の聯合又は單獨經營に屬し、私人又は國家の經營に屬するものは稀なり。
英人		一九	七、六七一	
英人		九	一、九四九	
佛人		一	一八〇	
計		四三	九、六七〇	

此れによると、英米の勢力は相伯仲し、佛國の如きは到底其の足元にも達しない。我邦の如きは未だ一人の支那人をも、支那に於て養成しない次第である。勿論我邦は地理上からして、留學生を多く招致することが出来るから、支那國土内に於て生徒を養成しないでも、充分其の目的を達し得る次第である。然し之を過去の歴史に徴すると、支那國七内に於て、何等の豫備的教育を受けないで、突然留學したものは、多くは反感を以て歸國し、留學國の長所を無視し、短所缺點のみに注意

して、之を排斥するに至ることが尠くない。英米に於ける第一期第二期の支那留學生は、全く其の失敗を繰返したので、現今に於ては成るべく支那國土内にて教育し、自國化した生徒のみを留學せしむる様にして居ることは、米國の清華學校を經營し、英國の香港大學其他を經營して、突然自國に留學せしめることなく、又努めて支那各地の大學に於て、自國と同様の學位及稱號を授與して(上海聖約翰大學に於てコロンビヤ州の法律による學位稱號を認可せる如き)、成るべく支那國內に於て



高等教育を終らしめようと企圖せる次第である。これが又一方からは地の不利を補つて、自國的教育を手早く多くの支那人に受けしめる良法であるかも知れぬ。若しかくの如き設備を支那に於てしなかつたならば、多くの生徒に自國的教育を施して、結局自國並に自國民の風尚と思向及感情とを植へ付ける事が出来ぬかも知れぬ。

### 三、外人主催の教育に關する諸會

在支外人は、各其の立場に従つて、諸種の教育會を組織し、支那に於ける教育を上進せしめ、基督教的人格の陶冶に努め、以て自國的思想感情を移植し、支那人をして我協力者として働かしめようとして居る。而して近來は此等外人の間に、統一的活動の必要を認むるものが多くなり、從て此種の會合は漸次大規模に、又組織的に進み、其の

決議に權威を加へ、其の事業を確固たる基礎の上に築き上げやうと努めて居る。今此等諸會の重要なものを列擧して見ると、上海には「中國基督教教育會」(支那名)「The China Christian Educational Association」(外國名)「東支教育協會」East China Educational Association「江蘇教育會」Educational Association of Kiangsu 等の有力なる諸會があつて、非常な勢力を持ち、尙「支那基督教文學會」The Christian Literature Society 及「英國亞細亞協會」Royal Asiatic Society の本部もあつて、支那に於ける外人活動の喧傳をして居る。更に西部地方に於ては、成都に「西支基督教教育聯合會」The West China Christian Educational Union があつて、西部支那の教育を統合し、中部に於ては武昌に「中支基督教教育聯合會」The Central Christian Educational Union があり、長沙に「湖南教育會」Hunan Educational Association があつて、中部支

那を連絡し、福州には「福建教育會」[Educational Association of Fukien]があつて、東支那の權威をなし、北方には濟南に「山東河南基督教教育會」[The Christian Educational Association for Shantung and Honan Provinces]南方には廣東に「廣東教育會」[Educational Association of Kwangtung]香港には英國側の諸種の會があつて該地方の教育を總攬して居る。其の他の小教育會に至つては、擧ぐるの繁に堪へないのであるが、尙一つ「支那基督教青年會」[Young Mens Christian Association of China]の事業に至つては、宗教及教育乃至社會改良の方面に於て、非常な活動をなし、其の勢力驚異に價するものがある。

會長は皆外國人で、多くは其の事務所所在地の大學總長若くはカレッジの校長を推し、其下に副會長幹事を置き、此等が實行委員會を組織して、常務處斷し、評議員は外國人支那人中に於て關係

者が互選することとなつて居る。然し其の實權は勿論外人殊に米國人の手に歸して居る。

其の事業は之を大別すると、教育事業と出版事業とに分けることが出来る。教育事業の方面では、一例を擧げると東支教育協會の如きは行政委員會、學科課程委員會、中學問題委員會、聖經要目委員會、教授法革新委員會、初等科學解說委員會の六部を置いて、其の調査及實行の責に任ずる等眞摯なる方法を講じ、外人が其の指導の地位に立つて各部を率いて居る。又出版事業の方面では、雜誌教科書は勿論、各種の通俗教育に關する小冊子を發行して、其の普及に努めて居る。一例を擧げると、中國基督教教育會の如きは、地理類八種、數學類六種、歷史類七種、掛圖類二十一種、法律類八種、聖經地理及地圖類三種、基督の旅行類七種、科學類十二種、雜類一種、合計八十種の書籍を出版し、其中教科書に採用せられ居るものが、八十

パーセントもあるといふ事である。其他教授要目及細目等の發行から、調査書の發行乃至は年報、統計類の發行に至るまで手を出して居る。其の熱心實に驚嘆に價するものがある。

尙一種特別なる事業は、各教育會が委員を選んで、各省各地の學校卒業者に對し、共通に試験を行ひ、其の學力を證明するの一事である。これは彼國の如く、學校によつて其の程度を異にする所では、頗る適切なる事業であるとせられて、一の權威をなして居る。

支那基督教青年會の事業は、更に一層整然たる秩序の下に事業が計畫せられて居る。今や其の會員は二萬八千を算し、全支那に三十個所の支會を有し、支那の各種の階級に亘つて會員を有し、宗教教育及社會改良の各般に亘つて其の手を擴げて居る。其の幹部は全國を通じても二百四十三人を有し、中九十七人は外人、百四十六人は支那人であ

る。而して其の外人中に就いて見ると、米國人七十七人、英國人十五人、和蘭人三人、瑞西人諾威人各一人といふ割合である。如何に此處に於ても米人の力が優勢であるか分る。

本會の事業の重なるものは、講演部、畫報部、學生部、宗教部、城市部、體育部、庶務部、幹事養成部、の各部が盛に活動して居る所から、大體推察せられるから此處に事々しく述べないが、二の例を舉げて見ると、千九百十六年度に於て、講演部は全支那五百十四個所に於て講演をなし、十六萬五千人の聴衆を吸收した事によつても略々其の活動の模様が分る。又畫報部に於ても聖書研究、傳記、體育、信仰及修養書の各種に亘つて、同年の發行部數約十九萬、頁數約七百五十萬に達した事によつても、決して有名無實の會でない事が分る。而して此等の費用は大部分は、寄附金・著作料・聽講料・授業料によつて支持せられ、殆んど

自營的である事は、最も感嘆に堪へない次第である。

要するに支那各都市に於ける基督教青年會の活動は現今目醒しきものがある。其の會員を満足せしめ、本會事業に盡瘁せしむる手段としては、地方會員に宿泊所を給して愉快に且安價に宿泊せしめ、在市會員には會食、玉突、圖書、新聞其他諸種の娛樂機關を備へて、自然に會所に入出する機會を作り、又一般市民には時々通俗講演會、幻燈其他注意を惹くべき事項を以て會所を開放し、以て市民に好感を興へると共に、之に信頼せしめようとして居る。又各學校の卒業生をして、各種の方面に就職せしめる幹旋をなすが如きも、最もよく支那人の要求を看破し、其の時勢と民度とに適應して、之を善導しようとして居る事實は、蓋し何等かの結果を齎らさないうでは止まないの觀がある。

在支外人の支那人教化運動と其の動機

#### 四、外人の力説する教訓の内容

外人が支那に入つて、先づ最も其の不便を感じる所のものは、彼此道德觀念の相違である。衣食住の差異は、不便は不便であるけれども、各々固有の習俗に従つて、相互に相侵しあふ事がなかつたならば、別に重大な問題を惹起する恐がないのであるけれども、道德上の事は、彼此の交渉が密接で、相互に不干渉的なるを許さない。従て外人が支那に入つて、支那を開發し、何等かの準備をなさうとするに當つては、先づ道德觀念の革新に着目するのは、自然の勢である。

然らば外人は支那人の道德觀念を革新する上に、如何な點を力説するか、今次に之を列擧して見よう。

一、君主專制の時代に於ては、忠君愛國は主上の道德であらう。然れども民國となつては、四民

平等であつて且自由である。萬民等しく議政の權がある共に萬民等しく愛國の義務があるのである。

二、條約を守り、法律を遵奉するのは、國民の義務である。何人も條約法律を躡躪することは出来ないのみでなく又之を知らないといふ理由で以て責任を回避することが出来ないのである。

三、産業を起し、國富を謀り、國貨を用ひて、以て利權を確保するは、民國人の一日も忘れることの出来ぬ規箴である。

四、教育を起し、民知を開き、風俗を改め、以て新道徳を涵養するのは、民國人當面の急務であり、又國に盡すの最大の務である。

五、公徳を尙び、公益を起し、相協力親和するの實を擧ぐる事は、民國の基礎を鞏固にし、民國の發展に資する所以である。

六、國恥國辱を除き、外人に對して常に誠信を

重んずる事は、民國人の信を内外に繋ぐの所以である。斯くして民國は列國と位して、其の地位を保持し得るのである。

七、進んで納稅當兵の責を盡し、以て民國の難局を挽回し、外國の干涉を防ぐは、民國に盡すの必然義務である。

外人は如上の様な新道徳を以て民國人の目標となさしめ、以て民國を開發しようとする最善の努力をなして居る。此れ大に注目し價すべき所ではあるまいか。惟ふに此れからして、支那國民の間に、新舊思想の混亂が起り、事大急進の思想が争闘し、益々支那の現状を混亂たらしめるに至ることがなからうか。支那の軍事、産業、外交、財政等一として注意を逸する事が出来ないのは勿論の事であるが、特に國民の思想の變轉については、一層の注意を拂ひ、其の歸趨を察し、之を善導するでなかつたならば、我邦の對支政策上多大の違算を來

すことが出来はしまいか。一寸しても支那人が日貨を排斥し、邦人を迫害し、或は邦人を敵視するのは、此の思想上の了解一致を缺いて居る爲ではあるまいか。支那を思想の上から導き、日支親善の實を擧げる様な教育事業について、晏如たる現狀は、益々日支兩國人をして背馳せしむる所以ではあるまいか。單に支那留學生が多數本邦に來るからといつて安心する事は出來ないと思ふ。要は支那人環視の中にあつて、支那人によく了解せられながら、支那人を教へ、日本文明を傳播する手段を缺如するのは、現代に於ける我邦教育の一段事であると共に我邦の對支政策を片つ端から裏切る深因ではあるまいか。

## 五、外人の支那人教化の動機

外人が支那人の教化に熱中し、相互に競争して居る状態は上に述べた通りである。何故に自國の

經費を投じて、支那人の教育殊に高等教育に従事して居るのであらうか。勿論支那の青年に自國的教育を施し、自國の仲介に依り、世界の文明を窺はしめ、人材を培植し、依て以て支那を開發し、進んで基督教的思想に依つて、青年の人格を完成し、支那の青年をして、文明人として耻しからざる品格と力量とを具備せしむる人道上の目的に基くものであることは、言を俟たない次第である。

例へば香港大學、文華大學(武昌)、聖約翰大學堂(上海)、震旦大學院(上海)、新學大書院(天津)等の目的は皆此の旨趣を明記して居る。

然れども凡そ布教若くは教化事業の影響は、單に其の豫期の影響の外に、自然に之に伴ふ副影響の添加するのを忘れることが出來ぬ。否其の副影響の方が、時としては固有の影響よりも、甚大の意味がある事がある。然らば外人の教化事業に對し、如何なる副影響が発生するか、以下之につい

て研究を重ねようと思ふ。

(甲) 通商貿易上の影響

(イ) 自國製産品紹介の便宜 米國宣教師「バッシ  
ユフオード」氏の所論によると、二十年後の將來  
に於て、百億の資易額を有する支那の市場に、二  
十五億の米國製産品を賣付けんとする爲には、米  
國は支那人教育をなす必要がある。即ち米國現今  
の教育的活動は、將來に於ける米支貿易上の肥料  
として、頗る有意義のものであるといつて居る。

將來生産過剩の爲に苦しまうとして居る米國とし  
ては、斯様な遠大な計畫を立てる事は、無理から  
ぬ次第である。又東亞經濟調査局の報ずる所によ  
ると、青島特別高等學堂（獨逸の設立にかゝる、  
今は閉鎖）設立の趣意書中にも

此の學校で養成した支那青年をして、將來獨逸  
的の觀念を以つて世界を觀察せしめ、彼等の從  
來夢想しなかつた獨逸文明の進歩を窺はしめ、

他人の紹介を俟たないで、自ら獨逸の事情を探  
究せしめ、且つ新に得た此等知識によつて、漸  
次増進する支那國民の物質的需要に對し、獨逸  
の市場を紹介するにあるのである。

と書いて居る。又「ザルツマン」博士の「東亞ロイ  
ド週報」に寄せた「獨逸國輸出の擴張に對する東  
亞市場の準備」の中にも

獨逸が工業立國の方針を採つて以來、其の生産  
品を外國に輸出するの必要は、從來に比して一  
層痛切なものである。然るに現今其の販路には  
多大の競争がある。此の競争の餘地の存する所  
は、南米、東亞、殊に支那を以て第一とする。

支那が覺醒して其の土地を開拓し、農業を改良  
し、工業發達し、生計向上し、消費力の増加す  
る曉には、外國工業品の市場として、非常に有  
望なのは言を俟たない次第である。是を以て英  
米は其の準備として、支那人教育を大々的に計

畫して居る。蓋し學校教育によつて、自國の特質風習を傳播し、言語を普及して置けば、勢ひ其特質風習に適合する物品を需要し、之を自由に使用し得る言語によつて注文するに至るは自然の勢である。従て學校は恰も廣告所となり、又注文方を知らせる案内所となるのである。而して此の廣告所、案内所の設置には、戰爭と同様に幾多の巨費を要するのである。英米には數百萬圓の私金を投ずるものがある。即ち英米の商工業家は、支那の廣告所、案内所に大資本を投じて、自己の利益を保護することを理解して居る。獨逸政府も亦其の必要を覺つて、青島に大資本を投じたけれども、尙一層商工業の基礎を確實ならしめる爲、多額の費用を投ずるの必要がある。此れ即ち廣告料たるのである。吾人は日本が異數の發達をなした間、拱手傍觀して其の着手を怠つた結果、多大の損失をして居る。

前者の顛覆するを見て、後車の戒となすは此の秋である。

と、徹底的の言明をなして居る。斯く考へると、教育を單に人格の完成とのみ解釋せず。之を國際間に通用して、其の意義を擴大し、之を自國民の利益を保護するといふ意味をも、含有せしめねばならぬかも知れぬ。

(ロ) 製産品購賣力の開拓 更に他の方面から、自國的教育普及の目的を探究して見ると、支那の産業殊に農工業を改良して、支那の産業的活動を促進することによつて、自國的製産品の需要を増加せしめる利益がある。金陵大學の農林科、齊魯大學(濟南)の醫科、理工科、其他各地の大學及専門學校の如き、農工及醫業の發展によつて、肥料・器械・又は藥品・染料等の需要を増し、之によつて通商上の利益を占めようとする底意あることは察するに難からざる所である。



曾て大戦前青島特別高等學堂農學科報は、次の所論を掲載した。即ち現今の支那の對外貿易は、逆現に陥り、年々一億圓以上の輸入超過を來し、支那の正貨は年々流出して止まない。此れを匡救するの道は、輸入を防遏するか、又は輸出を増加するかとの二途あるのみである。然るに輸入防遏は容易に實行する事が出来ない。何となれば此等輸入品は、多く工業上缺く事の出来ない器械類が大部分を占め、此れが防遏は、其の將に發達せようとして居る工業を、摘除せようとする結果に陥るかである。然らば其の輸出増加の方法は如何にするを可とするか。曰く現今の處では只農産物の供給を豊富ならしめるより外に途がないのである。即ち綿、糸・茶・豆・麥稗眞田・獸皮等の産額を増すを以て捷徑となすのである。而して之をなす途は如何にするを可とするか曰く外人の智力を籍り、經營の方法を改め、交通機關の發達を圖り、農政

機關を整理し、農業組合を起し、農事試驗場を設け、優良な農業新法を教へる一途あるのみであると言つて居る。其言ふ所、誠に支那の爲に謀つて親切な様であるけれども、其の裏には又自己の利益を包含して居る様に見える。即ち人造肥料の賣込の如きは其の一例である。之を我邦に比較して見ると、我邦の人造肥料使用額は、年々二億圓に達する現況である。而も外國輸入品正に其の三分の一を占めて居る。之を支那の大耕地に適用するとしたならば、其の外肥輸入額實に鮮少ならざるものがあらう。

其の又支那從來の漢法醫法を改めて、歐米醫術を以て之に代へ、醫藥及醫療器械を西洋に仰ぐとしたならば、其の所要額幾何に達するか、實に逆睹すべからざるものがあらう。一例を舉げると、我邦の仁丹の如きは、其の廣告文が支那全土の首要他に亘つて居るといつてもよいが、其の廣告に

費される費用は、實に莫大な額に達しよう。然るによく其の利益を擧げ得る所以の點に想到すると、此等の事業の決して輕視することが出來ない理が考へられるであらう。此れ一方には、外人が慈善の名の下に西洋醫術を傳へ、一方には西洋式醫師を養成して、支那人に好感を與へながら、絶大な利益を收めようとする經濟的見地にあるものと解することが出來るのである。

更に又工業的開發によつて、工藝機械及其の必需品の需要を増し、之によつて自國器械及必需品を販賣する路を開拓したならば、其の受くる利益は又前者に劣らないのであらう。

### (乙) 合辦的企業の準備

支那の富源は世界の何れの國でも之に匹敵する所はなからうと思ふ。鑛産に、農産に、又工業原料に、殆んど無盡藏と稱する事が出來る。而して之に要する工賃の低廉なること、亦何れの文明國

民と雖も競争することが困難であらう。又其國土は四億の人口を包容し、無限の消費者を生息せしめて居る。其の同業地として有望なるは、何れの國も之に比すべき所がなからう。此の富源を開拓するに、土着の支那人を除外して考へることは、如何なる人も認容しないであらう。然らば外人が此處に投資する場合に、支那人との合辦を企畫するのは自然の條理である。然らば此の支那人との合辦事業を經營するに當つては、先づ彼我の理會と、意思の流通とを必要とする事は、言を俟たない次第である。之をなすには單に外交上に於ける形式的の讚詞の交換のみで達せざるべきものでない。其の最も有効なるは、自國的教育を支那人に施して、充分我を理會せしめると共に、彼に接近して彼を研究し、尙進んで國民相互の間に、親善關係を成立するに若くものなからうと思ふ。此れ外人が力を教育に致して、我言語を普及し、習俗

風尚を彼に傳へると共に、彼此の親善を濃厚にせようとする所以であらう。

思ふに、支那の富源は早晚必ず大々的に開發せらるる時期があらうと思ふ。其の時期に際して、合辦事業に落伍せるものは、支那に於ける地盤を失ひ、世界の經濟的競争の中心から離れるやうな悲運を招致するかも知れぬ。

### (丙) 自國勢力扶植の便宜

教育の力によつて齎すことの出来る其他の效果の内、特筆すべきものは、自國勢力扶植の便宜である。前述の通り、支那の高等教育は、其の四割以上は米國に依り、又約四割は英國に依つて經營せられて居る。従て其の政權を得、民衆を指導し得るものは、將來に於て決して尠くはないであらう。現今に於ても、中央又は地方に於て、其の要路を占めるものは、英米の教育を受けたものが非常に多い。従つて彼我の感情を融和し、相互に理

會し相信頼せる點に於て、利權競争に便宜を得ることは尠くはない。其の一例を擧げると、某鐵路の前社長は、獨逸仕込の人であつた。従つて其の鐵道材料を獨逸に向つて注文せようとしたが、其の後任社長は英國仕込の心酔家であつたから、就仕するや、直に前社長の計畫を破壞して、其の注文を許さず、而も其の注文品に對する獨逸の見積は、最も安價であつた實例がある。之を中央の樞機に與るものに移して考へると、思ひ半ばに過ぎるものが多々あらう。

然し其の教育が當を得なかつたならば、却つて其の間に反感を懷き、曾て或國人の招いた様な失敗を繰り返す事がないともいへぬ。此れ大に彼等が支那の國民性の研究と、國情の洞察とに努め、其の上に教育の施設を企畫する所以であらう。

## 六、結語

以上によつて考察すると、外人が支那人教育に熱中して居る動機は、支那人に對し自國的言語、知識、道德を普及し、自國の趣味を鼓吹し、自國の思想感情を傳へて支那人を開發し、世界の文明人に伍せしめようとする人道上の動機に基くものであることは、言を俟たない次第であるが、亦之によつて副貳的に彼我の友誼的感情を涵養し、以て支那國內に於ける企業に利便を得、自國製産品を紹介して、其の購買力を増進し、其の販路を擴張し、更に科學的知識及技能を啓發して、事大保守の陋習を破り、其の富源を開放せしめ、低利の資本を投下して、金融増殖の道を講じ、支那の産業を振興して、支那を利用すると共に、自國工業の原料品及食料品を供給せしめ、以て自國の産業を保護發達せしめると共に、自國の經濟的基礎を鞏固ならしめる上に、利便を得ようとするのであらう。

在支外人の支那人教化運動と其の動機

果して其の通りであるとすると、外人は教育によつて支那國民に恩惠を施し、彼等を隨喜せしめて置いて、自己も之に伴ふ利益を得ようとするものであると言ふ事が出来る。而も其の利益は、英國の印度に於ける、佛國の印度支那に於ける（主權の存否は別として）利權と擇ぶ所がないものであるまいか。蓋し土地の領有は統治上多大の犠牲と費用とを要し、失ふ所は贏ち得るものに比して、餘りに高價なることが尠くはない。是に於て土地の領有よりも、寧ろ統治權の薄弱な地方に着目し、茲に利權の扶植を圖るのは、亦一種の國民發展政策ではあるまいか。此れ列國が總て支那に教育事業を企畫し、依て以て人道の爲に貢獻すると共に、自國的勢力の扶植を圖る所以ではあるまいか。此の機に際し我邦の新的方面に餘りに冷淡であるのは、日支親善の標榜に對して、何だか實意を缺く様な感じを起させる。此の點に於て余は、我邦人の

奮て支那に於ける教育競争に参加し、我邦の支那に於ける特殊の地位を根本的に確保し、進んで相提撕し、緩急相應じ、以て東洋の平和を保證し、彼我の福利を増進する計を立つべき必要はなからうか。(大正八年十月二十三日稿)

參考書

東亞同文會發行雜誌「支那」。「滿鐵聖書會講演集」第一輯。China Mission Year Book. 1918, Educational Directory of China. 1918. 民國行政統計彙報(支那國務院編纂)。The University of Nanking Bulletin 1917. Report of Board

of Managers of Peking University. 1917. Tsing Hua College Bulletin of Information No. IV. Griffith John College (Hankow) 1918. Boone University Bulletin. 1919. (其他外人設立各學校ノ報告ノ略ス)(基督教青年會報告)

寄贈書籍雜誌

哲學雜誌、丁倫倫理講演集、心理研究、六合雜誌、東洋哲學、無盡燈、六條學報、早稻田文學、文化運動、學校教育、教育、內外教育評論、教育學術界、教育界、教育研究、教育時論、現代教育、東京教育、奈良縣教育、静岡縣教育、近江教育、岐阜縣教育、愛知教育、都市教育、信濃教育、佐賀縣教育、鹽備教育、宮城教育、愛媛教育、山形縣教育雜誌、地上の子、理科教育、

前 號 目 次

北米の國土と其藝術	文學博士 松本亦太郎
幸福と道德との關係	文學博士 藤井健治郎
佛教の豫言說	文學士 手島文倉
神と創造	文學士 久松真一
基本的と附加的と	文學博士 野上俊夫
彙報、新著紹介、哲學研究第四卷總目次	